

コミュニティバス(旧「(仮称)ポートルースファンバス」)の運行開始について

1 概要

ポートルースとこなめでは、レース場のパーク化の一環として、「本場」「モーヴイとこなめ」及び「グリーンとこなめ」への来場者の増加と各施設の利用促進とともに、市民・観光客をはじめ誰でも利用可能な交通手段としてのコミュニティバス(旧(仮称)ファンバス)の運行を開始します。また、本市が掲げる「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指す「とこなめゼロカーボンシティ宣言」の実現に向けた取り組みとして、電気バスによる運行を行います。

2 名称

「コミュニティバス グリーン」

ポートルース場の複合施設化(ポートルースパーク化)事業の1つである、子どもたちの健全な育成と老若男女を問わない世代間交流ができるコミュニティの拠点としてオープンした、業界初の施設「コミュニティパーク グリーンとこなめ」にちなんで「コミュニティバス グリーン」と名付けました。



ロゴデザイン

3 運行開始日

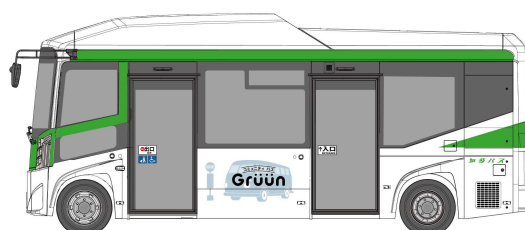
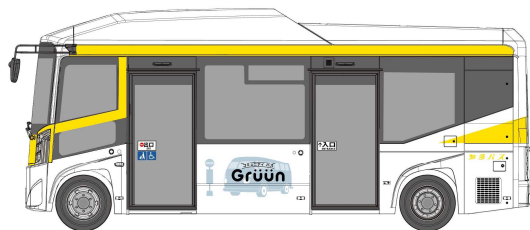
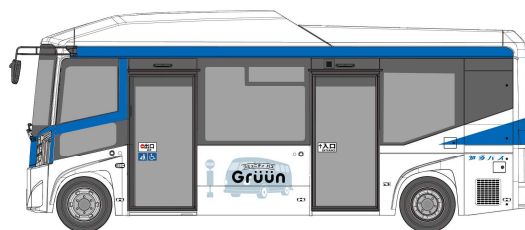
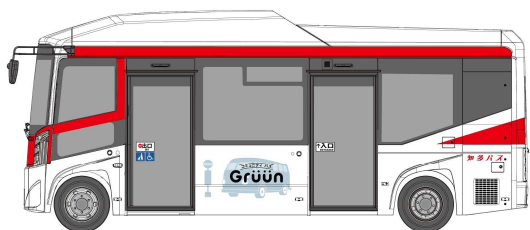
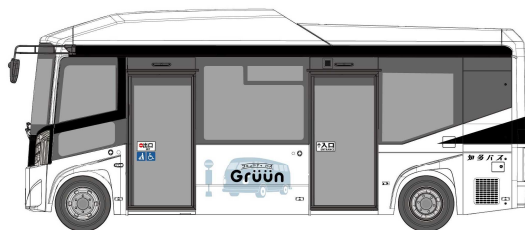
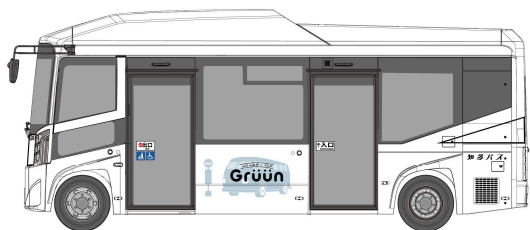
令和4年10月1日(土)

4 導入車両及び充電設備

(1) 導入車両

- ・メーカー: BYD (ビーワイデージャパン株式会社)
- ・型式: 小型電気バス J6都市型II
- ・台数: 6台
- ・乗車定員: 29人
- ・充電時間: 約3時間
- ・航続距離: 200km (乗車率65%、エアコン利用なし)

【バスデザイン】



(2) 充電設備

- ・ポートレースとこなめ（2基）
- ・市役所（1基）
- ・知多バス車庫（1基）

計4基

5 運行概要

(1) 運行路線及び運行本数(往路復路合計)

- ・ 常滑北部・市役所線

農協北部センター ⇄ 常滑市役所・市民病院・・・運行本数：13本

- ・ 常滑北部・大野線

矢田公民館 ⇄ 大野町駅・・・運行本数：4本

- ・ 常滑中部・市役所線

常滑駅 ⇄ 常滑市役所・市民病院・・・運行本数：50本

- ・ ボートレースとこなめ周遊線

ボートレース、イオンモール常滑周遊・・・運行本数：19本

- ・ 常滑南部・上野間線

常滑駅 ⇄ 上野間駅・・・運行本数：17本

- ・ 常滑南部・武豊線

常滑駅 ⇄ 知多武豊駅・・・運行本数：15本

※路線図、時刻表、新設バス停などの詳細は、別添3「コミュニティバス グループの詳細」のとおりです。

(2) 運賃体系

無料

(3) その他

路線、ダイヤ、運賃等については利用状況等を踏まえ、「常滑市地域公共交通協議会」の意見を参考に見直しを図っていきます。